

地域 かわら版

四中地区版

■発行日／平成 27 年 5 月

■発行・編集／日野市企画部地域協働課
〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2

■電話／042-581-4112

H27年
通算第17号

旭が丘中央公園、巽聖歌の碑の前にて。(平成 26 年度 第 2 回地域懇談会)

* 地域がつながるフリーペーパー *

今日、高齢化社会・人口減少社会、地域コミュニティの衰退、空家問題などが叫ばれる中、これらの問題に立ち向かっていけるまちの基盤づくりのためには、「人と人とのつながり・コミュニティ」を創っていくこと、市民一人ひとりがまちづくりに関わっていくことが必要です。

その取組の一つとして、昨年度より8中学校区で開催している「地域懇談会」を大きく転換致しました。以前は、自治会活動の情報交換の場として自治会長を対象に開催しておりましたが、地域で活動している団体の方々にもお声掛けし、住んでいる方とその地域で活動している方の顔合わせの場となっています。

四中地区では、前半をまち歩き、後半を懇談として地域懇談会を開催しました。前半のまち歩きでは、GE ヘルスケア・ジャパンと旭が丘中央公園に行きました。滅多に入ることが出来ない GE ヘルスケア・ジャパンでは会社内部を見学させて頂き、そこで「シルバー・トゥ・ゴールド (S2G)」など地域の問題に取り組んでいるチームのお話などを伺いました。また、旭が丘中央公園で毎年行っている「たきび祭」について、中央公園にある巽聖歌の碑の前でたきび祭実行委員の方にお話をいただきました。後半の懇談では、GE ヘルスケア・ジャパンのプロジェクトチームの方、たきび祭実行委員の方にも懇談に参加していただき、まち歩きの感想や、四中地区が抱えている問題、未来への展望など様々な意見を出し合いました。

そして、取組のもう一つがこの地域情報誌である「地域かわら版」です。これまでの地域かわら版は日野市全域を対象に発行していましたが、昨年度より8中学校区に分け、記事は市民の方々に書いていただくなど、市民により身近な情報をお届けしています。

人とつながるきっかけとして四中地区のよさを発見する「地域かわら版」をご活用ください。

GEヘルスケア・ジャパン

市内旭が丘4丁目、旭が丘中央公園の隣に位置する「GEヘルスケア・ジャパン」。発明王トーマス・エジソンが設立者に名を連ねるアメリカGEのヘルスケア部門の日本法人で、1989年4月から現在の場所で、病院で使われるCTやMRI、エコーなどの開発・製造をしています。日野で開発・製造された医療機器は国内のたくさんの病院を始め世界にも届けられています。

全国55か所に営業拠点をもち、約2000名の様々な業務に携わる社員の中で、本来の業務を超えて、急激な高齢化が進む日本がかかえる課題解決の活動に取り組んでいるチームがあります。2012年、設立30周年の記念行事としてスタートしたこの活動は、「高齢世代（シルバー）の生活の質を高め、幸せな輝かしい人生（ゴールド）を送れるようにしよう」というもので、「シルバー・トゥ・ゴールド（S2G）」と呼ばれ、日野市役所・市内の大学、企業などとともに積極的な活動を展開しています。

第2回地域懇談会では、4名の社員も皆さんの熱い議論に参加させていただきました。



遠藤文代氏

(ビジネスオペレーション部門)

当社が地域の住民の方々にはあまり馴染みがなかったようで、社内公用語が英語の研究機関との都市伝説があったと知り私たちもびっくり！短い時間でしたが、参加いただいたみなさんに当社のことを少しでも身近に感じていただけて嬉しく思いました。また、皆さんが地域づくりの目線で話されていて、「子供達にとって日野はふるさとなんだ」という意見が印象的でした。おじいちゃん・おばあちゃん世代の年中行事に子供会が加わって高尾山ハイキングをされたと伺い、この様な交流が優しい地域を形成するのではと感じました。

医療業界に身を置く私たちだからこそ、高い危機意識と解決意欲があります。そして、我々の強みは何よりも、地域住民の方々の健康や超高齢社会の未来について、部署や世代を越えて真剣に討議できる仲間をつくることができること。S2G活動はその一つのかたちです。



谷本広幸氏 (製造部門)



田村瑞穂氏

(営業推進部門)

地域であいさつをかわす程度の顔見知りでも、その目があることにより犯罪は減る、というお話があり、それは高齢者への見守りにも通じることなのかな、と思いました。地域に子ども会が少なく、若い世代が集まるのはサッカー、野球などのチーム単位が中心だったりする。日野の中でも比較的新しい都会的な面が強い地域ようです。幅広い世代が「地域」を単位に一緒に動き、また交流する機会をもっと増やしていけたらいいですね。

参加者のみなさんが想像以上に当社訪問の機会に感激されていたことに驚きました。玄関の展示スペース（エジソンスピリッツ）の紹介やそこでの演出、S2G活動を紹介させていただくと「ただものではない。やはり世界のGEは違う」というお声も聞かれました。私たち社員にとっては普段当たり前のことでも、外から見ると感動するような凄いことだったりするのだと気づかされました。



角口裕子氏

(コア・イメージング部門)

参加された皆さんが本当に楽しそうだったのが印象的でした。多分、多くの方がこの地域でもっと頑張るぞ！とパワーをつけて帰られたのではと思います。その場に同席させていただいて、私たちも力をいただきました！

たきび祭

★たきび祭の由来

旭が丘中央公園では、四季折々に多くのイベントが開催されています。この公園には童謡「たきび」の詩碑があります。これは「たきび」の作詞者・巽聖歌がこの旭が丘で晩年過ごされたことを讃え「たきび会」の皆様が平成11年(1999年)に建立されたものです。この地域の会社・商店で構成される「旭が丘商工連合会」は、詩碑(巽聖歌)の存在を広め、街のひとつの「顔」にすることを目的に、地域の多くの皆様(子どもからお年寄りまで)に参加いただける、文化の香りがするイベントとして、平成18年(2006年)「たきび祭」をスタートさせました。

★冬の恒例イベント「たきび祭」

たきび祭は、毎年12月第1週の金・土曜日に開催。金曜日は「前夜祭」として、巽聖歌に因んだ詩の朗読、童謡の合唱、詩碑の前でのキャンドルサービスが行われます。土曜日は「本祭」として、たきびが行われる中、旭が丘地区の小学校・中学校・児童館、加えてアーティストの皆さんが演奏・合唱・踊りを披露します。模擬店の出店もあり、子どもたちには焼き芋をその場で焼いて配付します。



↑上：たきび祭の象徴でもある焚火

下：「いもいも音頭」を踊る子どもたち



★今年は第10回たきび祭

今年のたきび祭は12月4日(金)・5日(土)に開催されます。節目の10回目を迎えることから、たきび祭のゆるキャラ「やっぴい」の製作、童謡「たきび」の舞台となった中野上高田の「垣根オブジェ」の展示、巽聖歌が生まれた岩手県・紫波町からの「聖火リレー」、第5回たきび祭にお招きした、NHK第16代うたのおねえさん「神崎ゆう子」さんの招聘などを検討しています。

文：たきび祭実行委員 田中 三雄氏

オヤジたちの！ 焼き芋奮闘記

たきび祭の焼き芋は、毎回好評を博していました。しかし、その焼き芋は毎年お願いしていた業者が廃業により、断念せざるを得なくなりました。機材も人員もなく、お知らせのチラシは焼き芋の文字を消しての配布でした。この様な中、村上会長が日野市立落川交流センターの視察の際に焼き芋イベントを知り、一旦はあきらめていた焼き芋を継続できる手だてを得たのでした。ドラム缶を縦に半分にしたコンロを借り受け、あとは人手の確保ができれば例年のように焼き芋を続けることができたのです。

問題の人手は、子供広場を担当している四中地区青少年育成会を通じ四中地区オヤジの会のメンバーに協力要請をしました。直前の呼びかけにもかかわらず、10名程が集まってくれました。これは

地域活動を通じ相互に協力し合ってきたいわば顔の見える関係がそこにあったからでした。



↓当日焼き芋を焼くオヤジたち

人員確保の目途が立てば、あとは焼き方です。前日に役員が実際にトライアルをすることにしました。芋を濡らした新聞紙に包みその上からアルミホイルで巻き、中に入れ時間を計りながらの挑戦でした。40分程で焼き上がることを確認し、後は本番に託すだけでありました。

当日は火を扱うのはオヤジたちの出番だと言いたげに煙いのも物ともせず、焼き芋づくりに熱中しました。中には炭の火加減にこだわりを持つ者や、芋に竹串を刺すことで焼き具合を測



↓焼き芋の前には子どもたちの長蛇の列！

るなど、にわか焼き芋職人に徹したのでした。事前の告知もなかったにもかかわらず、まだ焼きあがる前から人だかりができ、冬のこのたきび祭には欠かせないコーナーと再認識し、200本を焼き上げました。

文：四中地区青少年育成会 田村 功氏

市からのお知らせ

自治会専用ページ「自治会ナビ」を公開しました！

日野市のホームページの最初のページ下部、「くらしの情報」欄に“自治会専用ページ「自治会ナビ」”を作りました。（日野市ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>）

総合サービス案内

くらしの情報

- ▶ 住民票・戸籍・印鑑登録
- ▶ 税金
- ▶ 保険・年金
- ▶ ごみ・リサイクル
- ▶ 生涯学習・文化・スポーツ
- ▶ 心配・悩み事・相談
- ▶ 住宅・建物・土地・道路
- ▶ **自治会専用ページ「自治会ナビ」**

福祉・健康

- ▶ 健康診査・検診・予防接種
- ▶ 健康づくり
- ▶ 医療機関案内
- ▶ 子どもの健康
- ▶ 高齢福祉
- ▶ 障害福祉
- ▶ 介護保険
- ▶ セーフティネット
- ▶ その他の福祉・健康の情報を見る

ここから飛べます

普段自治会から問い合わせの多い、防犯・防災、高齢者への取り組み…などの項目を一つのページにまとめました。

自治会活動をする中で、「こういうときはどうしたらいいのだろうか？」と困ることがあれば、参考にしてください。



高齢者のほっとあんしん相談所 地域包括支援センター

地域包括支援センターは日野市が設置している高齢者とそのご家族のための総合相談窓口です。プライバシーにも配慮しています。お困りごとやご心配ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

お隣のひとり暮らしのお年寄りを最近見かけなくて心配だわ・・・

同じことを何度も聞くようになったけど・・・もしかして認知症？

ご心配事があつたらまずは電話でご相談ください

ちょっと気になる方がいるのですが...

はい！こちら地域包括支援センターです！

名称	電話番号	担当地域
すてっぴ	582-7367	豊田・大字豊田・東豊田・旭が丘2、5、6丁目・多摩平1、2丁目・富士町
あいりん	586-9141	多摩平3～7丁目・日野台4、5丁目・大坂上
いきいきタウン	585-7071	東平山2、3丁目・平山
かわきた	589-1710	旭が丘1、3、4丁目・西平山・東平山1丁目

【受付時間】月～金曜日 午前9時～午後6時 ※受付時間以外のご相談は、電話により対応します